

放送 地域放送番組編集計画 (2010年度)

原文どおり掲載するが、年表示は西暦に統一した。

北海道

《基本方針》

グローバル経済の拡大、地球温暖化、少子高齢化など、国内外で起きている大きな変化のうねりは、北海道の地域社会にも大きな影響を与えています。激動の時代に、北海道のNHKは、地域に貢献し、人々の暮らしを守り、支える役割を担い、公共放送としての使命を全力で果たすとともに、地域とともに歩む、身近な放送局として視聴者の期待に応えます。

北海道のNHKは、“北海道はひとつ”の基本方針のもと、経営資源を効率的、計画的に配分し、7つの放送局が緊密に連携することで、きめ細かく、質の高い放送サービスを北海道全体で行っています。

10年度は、接触者率向上を図るために、大幅な番組改定を行います。夕方のニュース・情報番組は、内容を一新し、道内各地のニュースを、より早く、わかりやすく伝えます。さらに、高齢者から若者まで、幅広い層の視聴者獲得に向け、ターゲットを明確にした番組を開発するとともに、NHKの全国のネットワークを活用し、他の地域の放送局と協力した番組作りに、これまで以上に力を入れます。番組の編成は、機動的に行い、北海道の視聴者の期待に応えます。北海道の魅力を全道・全国に向け発信する「まるごと体感!北海道」キャンペーンは継続し、通年で展開します。

また、インターネットが急速に普及する中、ホームページを刷新するなど、3-Screens展開を拡充し、より多くの人がNHKに接する機会を増やし、NHKの存在感をよりいっそう高めていきます。

10年度の北海道地方向け地域放送番組の編集にあたっては、こうした考えのもと、北海道の視聴者の公共放送に対する期待に応えていきます。

《重点事項》

1. ニュース・報道番組の充実

○大きな事件、事故、災害など緊急報道の際、迅速にニュースを伝える体制を、全道で拡充し、視聴者の信頼に応えます。道内7つの放送局のネットワークを活用し地域のニュースや話題を、さらにきめ細かくわかりやすく伝えるため、平日午後6時台のニュース・情報番組を刷新します。また、北方領土問題や、農業、医療、高齢化など、北海道が抱える課題に正面から向き合い、金曜午後7時台の報道番組で、深く掘り下げて伝えていきます。○第22回参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）にあたっては、開票速報など関連放送に万全を期し、視聴者の信頼に応えます。また、道内各地の首長選挙についても、正確で公平な選挙報道を行います。

○生命・財産に関わる自然災害や、事件・事故の緊急報道に際しては、安全・安心情報を、インターネットや携帯端末なども活用した“3-Screens”展開で、“いつでも、

どこでも”確実に提供し、地域のライフラインとしての役割を果たします。

2. 視聴者層拡大をめざす戦略的な編成

○幅広い視聴者のニーズに応えるため、金曜夜間の番組群の内容と編成を大幅に見直します。午後7時台の報道番組に続いて、午後8時台には、人気ミュージシャンが道内各地の魅力を伝える紀行番組や、エンターテインメント性の高いインターローカル特集など、家族で楽しめる番組を重点的に編成します。午後10時台では、視聴者の反響が大きかった番組などをアンコール放送します。深夜0時台は、若者ゾーンと位置づけ、北海道発の音楽情報番組や、ライブ番組などを通年で編成します。

○土曜午前9時台から11時台を第2の地域ゾーンと位置づけ、多彩な番組を編成します。金曜夜間の番組の再放送のほか、視聴者と触れ合う番組や、釣りをテーマした趣味・実用番組を配置し、北海道の視聴者の期待に応えます。

○平日午前中、双方向で道内各地のさまざまな話題を伝える、身近な公開型情報番組を編成し、開かれた放送局として地域での存在感を高めていきます。

3. 北海道の魅力を全道、全国に発信

○特色ある道内各地の自然や文化、暮らしを紹介するため、「まるごと体感!北海道」の取り組みを継続し、道内各地域の番組を重点的に放送する月間を設定し、地域の話題をニュースや番組で、集中的に全道・全国に発信します。

○雄大な自然を誇る知床は、“知床世界自然遺産登録5周年”“知床旅情誕生50周年”を迎えます。北海道のNHKは“知床キャンペーン”を展開し、北海道が誇る大自然・知床の魅力を発信していきます。

4. 北海道の文化・歴史の記録、継承

○戦後65年を迎える今年、高齢化している戦争体験者の証言を記録し、貴重な戦時下の映像とともに伝える番組を放送し、戦争体験と平和への思いを、若い世代に語り継いでいきます。また、戦後の開拓に携わった北海道の人々の証言を伝える番組などを通して、北海道の文化、歴史をあらためて見つめます。

5. デジタルサービスの強化

○パソコンや携帯端末の特性を生かしたサービスを強化します。地域のニュースや気象情報、交通情報を充実するとともに、地域放送番組に連動した情報を積極的に発信し、満足度向上に努めます。また、双方向性など、デジタルの特性を生かした地域放送番組を開発し、視聴者がNHKに接する機会を増やします。

6. 地域に根ざしたスポーツ情報の発信

○「北海道日本ハムファイターズ」や「コンサドーレ札幌」など、関心の高いプロスポーツについて、ニュースや中継で積極的に伝えていきます。また、アイスホッケー

ーやスキージャンプなど、北海道ならではのウインタースポーツの情報も伝えていきます。

東 北

《基本方針》

10年度、私たちは公共放送に求められている真のニーズを見つめなおし、地域に希望と活力を呼び起こす情報の発信と、サービスの提供に努めます。これまで取り組んできた、“改革と挑戦”をさらに勢いづける年としてまい進します。

10年度は、地上と衛星のテレビ放送の完全デジタル化へ向け重要な1年となります。東北地方でもデジタル化に全力で取り組みます。

東北地方は多くの課題を抱えています。停滞が続く地域経済、農林水産業の衰退、過疎化や格差拡大、あとを絶たない自殺。さらには、台風や地震などの自然災害の脅威にもさらされています。また、昨年夏の政権交代によって、私たちの暮らしにどのような影響もたらされるのかも重要なテーマです。このような不安な時代にこそ、NHK東北6局は地域の諸課題に正面から向き合い、暮らしに直結した確かな情報を伝えていきます。また、この夏の第22回参議院議員通常選挙についても、ネットワークを生かした的確かつ迅速な報道に努め、視聴者の期待に応えます。

魅力的な伝統文化と自然に彩られた東北地方。穏やかで心豊かな営みは、私たちの誇りであり、日本社会が失いかけています。ふるさとの素晴らしさをていねいに掘り起こし、中でも、東北の豊潤な風土の恵みが産み出す“食”に関する番組を大きな柱として位置づけ、いっそう多彩に展開していきます。

いま、東北のスポーツがかつてない盛り上がりを見えています。昨シーズン創設5年目で初めてクライマックスシリーズに進んだプロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」。東北勢が2チームに増え、活躍が期待される、サッカーJ1リーグ。スポーツには、地域を活気づけ一体感をもたらす大きな力があります。スポーツ中継をより充実させるとともに、“ご当地チーム”の情報も取り上げ、ふるさとを応援します。

放送とともに、パソコンや携帯端末などの媒体も積極的に活用し、視聴者との新たなつながりを目指します。また、公開収録やイベントを通じて多くの方々との交流を深めていきます。

《重点事項》

1. 公共放送としての使命 防災に向けた取り組み

視聴者の暮らしを守ることを第一に、今年度も東北6局は、正確・迅速な緊急報道・災害報道を目指します。

昨今大型化する台風をはじめ集中豪雨や雪害など、東北地方は繰り返し自然災害に見舞われてきました。緊急報道の備えを万全に、災害時には、柔軟な編成で情報を伝え、被害防止に努めます。

また、近い将来、宮城県沖地震が高い確率で再び発生するとされています。万が一の際に、一人でも多くの安全を守るため、年間を通じて防災関連のニュース企画や

番組の放送に一段と力を入れ、「防災・減災意識」の向上につなげていきます。

2. 金曜夜間の持続的な充実

“地域放送の重点ゾーン”と位置づけている金曜夜間は、午後7時台・8時台とも多くの視聴者から支持を集め、確かな実績を築いてきました。10年度も引き続き地域放送の充実に努め、視聴者からの幅広い期待にこたえていきます。

金曜午後7時30分からの番組では、東北が直面する課題に向き合い、視聴者の関心に的確にこたえていく番組を目指します。岩手・宮城内陸地震では改めて災害対策への課題が浮き彫りになりました。また、自殺者が相次ぐ状況も変わっていません。政権交代によって変わる東北経済、さらに医療、福祉、教育、スポーツなど、地域に密着したさまざまなテーマを多角的に取材し、東北の未来を展望します。

午後8時台では、昨年度「おいしい東北キャンペーン」を展開し、“食”を通してふるさとの素晴らしさを見つめる番組として大きな話題を呼びました。「おいしい東北」は、より見ごたえのある内容へ発展させていきます。もちろん、東北の豊かな自然や歴史、文化、そして東北で活躍する人たちの魅力を描くドキュメンタリーなども充実させていきます。

また、「冬・北国からのコンサート」や「東北民謡コンクール」など、公開イベントと連動した番組にも力を入れていきます。

3. ネットワークの真価、選挙報道

昨夏の総選挙の歴史的な政権交代は地域にどんな影響を与えているのか継続的に取材し、番組やニュース企画として詳しく伝えます。

新政権への国民の評価が具体的に示される第22回参議院議員通常選挙（任期満了10年7月25日）では、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供するとともに、的確かつ迅速な開票速報に努めます。

福島県知事選挙（任期満了10年11月11日）ほか各地の首長選挙についても、ネットワークの強みを最大限に生かして取材を行うとともに、11年春の統一地方選挙へ向けて万全の体制づくりを進めます。

4. どう変わる 地域の暮らし

私たちの暮らしに直結する地域の課題を深く掘り下げます。

12月、東北新幹線は八戸～新青森間が開業し、東北地方すべての県庁所在地を新幹線が貫くこととなります。人や物の活発な動きは東北経済や産業に何をもたらすのか、さまざまな検証を続けます。

戸別所得補償制度の導入で、農業は転換期を迎えます。日本の食料供給に重要な役割を果たしている東北の農業が、新しい政策によってどのような影響を受けるのか分析します。

このほか、医療、福祉、教育といった問題も多角的な視点で分かりやすく伝えます。

5. 地域スポーツを応援

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」は昨年初めてクライマックスシリーズに進出、今年は新監督を迎えいっそうの活躍が期待されます。サッカーでは、「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」が開催される今シーズン、「モンテディオ山形」と「ベガルタ仙台」による「みちのくダービー」がJ1の舞台で実現します。そして秋田県から新チームが参入するプロバスケットボールbjリーグなど、関心が高いスポーツを中継やニュースの中で積極的に伝えていきます。

アマチュアスポーツについてもきめ細かく紹介し、地域スポーツの振興に寄与します。

6. 多彩な番組で描く“ふるさと東北”

各地の温泉・湯治場をめぐりながら、心温まる人情話や地域の絆を描く『ふだん着の温泉』は、これまで全国にむけ400か所以上の温泉地を紹介してきました。13年目を迎える10年度も、東北が中心となってふるさとの魅力を再発見する番組として発展・向上させていきます。

3年目となるラジオ『ぬくだまりの宿 みちのく亭』では、魅力的な人物をこれまで以上に発掘し、東北の素晴らしさを全国に発信していきます。さらに今年度からは、全国放送で伝えた番組を再構成・再編集して東北地方向けにたっぷり伝える新番組もスタートさせます。

また東北地方向けに放送している『民謡をどうぞ』は、今年放送開始2,500回の節目を迎えます。特集番組も放送し、ふるさとの唄（うた）の素晴らしさを伝えます。

7. アナログ放送終了、デジタル化に向けて

11年7月に迫ったアナログ放送の終了、テレビ放送の完全デジタル化へのスムーズな移行に向け周知活動を徹底します。

デジタル放送の特色や受信方法などを伝えるミニ番組を制作し、随時編成していきます。また、データ放送やマルチ編成などその特性をいかした番組を放送するほか、「視聴者参加型」番組にも挑戦することで、デジタル放送の魅力を伝えます。

さらに、公開番組やさまざまなイベントを通して、周知活動を行います。

8. 地域とのつながりを求めて

「地域を見つめ地域を考える、地域に密着したイベント」を展開します。また、放送との連動を視野に入れながら、誰もが参加可能な、地域を元気にするイベントを実施し、より多くの方々とふれあいます。

視聴者の意向が放送やイベントに的確に反映されるように、地域の人たちとの意見交換を積極的に行います。

関東甲信越

《基本方針》

政権交代によるさまざまな変化、経済危機、世界的な環境問題などが、関東甲信越地方の4,700万人の暮らしに大きな影響を与えています。相次ぐ凶悪・巧妙な犯罪、新型インフルエンザ、社会の高齢化、自然災害など、多

くの人々が不安を感じています。

首都圏放送センターと関東甲信越の9つの放送局は、“たよりになる”“身近な”公共放送として、放送を通して地域の安心・安全を守り、暮らしを豊かにするために全力をあげます。そのために、地域の人々とともに地域の課題と真正面から向き合い解決策を探る報道・番組に力を入れるとともに、災害報道をいっそう強化します。また、各地の豊かな自然や文化、人々の営みを見つめ、関東甲信越各地の魅力为全国に発信していきます。

さらに、放送に加えてパソコンや携帯端末などを通じて、暮らしに役立つ地域情報のサービスを充実させ“いつでも、どこでも、もっと身近にNHK”を実現していきます。

《重点事項》

1. 地域の課題解決や暮らしに役立つ放送

地域が抱えるさまざまな課題に対し、地域の人々とともに解決策を考えるニュース・番組を発信します。地域や暮らしに大きな影響を与えかねない“埋もれた問題”“見過ごされている危険”を発掘する調査報道も強化します。

2. 災害報道のいっそうの充実

国民の命を守る公共放送として、災害報道に引き続き力を入れます。交通情報など暮らしへの影響について、きめ細かく情報を伝えます。

3. 正確・迅速な選挙報道

政治の動きが人々の暮らしに直結します。視聴者の関心に応え、第22回参議院議員通常選挙（任期満了日10年7月25日）では、争点や地域への影響などをわかりやすく伝えるとともに、結果を正確・迅速に放送します。

4. 地域の魅力・活力を全国に発信

関東甲信越各地には多様で豊かな自然や文化、暮らしがあります。地域の振興のためのさまざまなユニークな取り組みもあります。こうした各地の魅力や活力を、NHKのネットワークを活用して全国に、また世界に発信して地域を応援します。

5. 幅広い視聴者に親しまれる番組

視聴者の多様な関心や期待に応え、地域ごとに独自性を発揮しながら、暮らしに役立つ情報や、心を豊かにする話題などを多彩な形で提供し、幅広い視聴者に親しまれるよう努めます。

6. 多様なメディアに向けたサービスの展開

地域や暮らしに役立つ情報を、放送に加え、インターネット・携帯端末向けサービスなど、メディアの特性を生かしながら伝えます。

中 部

《基本方針》

中部地方の各放送局は、地域の課題と将来像を視聴者

とともに考える報道・情報番組を強化するとともに、それぞれの地域の特性や要望に応じて多様な地域サービスを展開します。

政治、社会システムの変革や長引く経済危機など、国内外の情勢の変動が、中部地方の経済や暮らしに影響をあたえています。地域経済の動きや、暮らしの安心・安全に関わる問題など、中部が抱える課題に正面から向き合い、地域の人々とともに解決に向けた道筋を探ります。

公共放送の使命である災害・緊急報道にあたっては、迅速かつ的確な情報の提供に全力を尽くします。「東海地震」「東南海地震」などの大規模災害に備えた、防災・減災に役立つ情報の提供に努め、地域住民の生命・財産を守ります。

地域の明るい話題を積極的に取り上げるとともに、自然や文化など、豊かで魅力あふれる中部の姿を地域や全国に発信し、視聴者に元気を届けます。また、地域に向き合う各放送局独自の取り組みを多角的に展開するほか、地域を盛り上げようとする動きを視聴者とともに応援し、地域の活性化に貢献します。

中部地方では、環境に関する国際会議やイベントが開催されます。地球規模の環境問題をさまざまな角度から検証するとともに、地域の人々と一緒に、身近な環境問題から地球環境を考えます。

11年7月の地上テレビ放送の完全デジタル移行に向け、アナログ放送終了の周知広報、地上デジタル放送の普及に努めます。また、パソコンや携帯端末などを通じて、多彩なサービスを提供し、幅広い世代の視聴者との結び付きを強めます。

中部地方の各放送局は、こうした取り組みを通じて、地域の人々の役に立ち、親しまれ信頼される放送局を目指します。

＜重点事項＞

1. 地域の課題解決と活性化に役立つ放送に力を注ぎます

○政権交代などによる政治、社会システムの変革や長引く経済危機など、国内外の情勢の変動が、中部地方の経済や暮らしに影響をあたえています。地域経済、少子高齢化、医療、福祉など、地域が抱えるさまざまな課題を、平日午後6時台や金曜午後7、8時台の地域放送番組などで多角的に取り上げ、解決に向けた道筋を考えます。○各放送局は、地域の明るい話題を、ニュースや番組で積極的に取り上げるほか、地域に向き合う独自の取り組みを多角的に展開するなど、放送を通して地域を応援します。

2. 中部地方の魅力を地域の視聴者に届け、全国にも積極的に発信します

○豊かな自然や文化、人々の暮らしなど、話題性と存在感があるテーマにとことんこだわり、中部の魅力を多彩な手法でたっぷり伝える地域放送番組の制作に取り組むとともに、全国へ向けて積極的に発信します。○中部地方の魅力ある人や生き様に迫るドキュメンタリーなどを制作し、視聴者の関心と期待に応えます。

3. 地域とともに地球環境を考えます

○10年、中部地方では、「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」（愛知県）、「APECエネルギー大臣会合」（福井県）、「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」(岐阜県)が開催されます。これらの環境に関する国際会議やイベントに関連した番組を、地域や全国に向けて積極的に発信し、地域の自然や身近な環境問題について、視聴者とともに考えます。

4. 緊急報道と防災・減災に全力を尽くします

○大規模地震、津波、台風、集中豪雨、大雪などの自然災害や、原子力関連の事故など、地域住民の生命や財産にかかわる災害や事件・事故にあたっては、迅速で正確な報道に全力を尽くします。データ放送やインターネットなどを活用した、きめ細かい情報の提供にも努めます。○近い将来の発生が予測されている「東海地震」「東南海地震」などの大規模災害に備え、防災・減災に関する情報や番組を放送し、地域の防災意識の向上に努めます。

5. 公正で的確な選挙報道で視聴者の信頼に応えます

○政権交代後初めての大型国政選挙となる第22回参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）や、愛知県知事選挙（任期満了日 11年2月14日）など中部地方で行われる首長選挙にあたっては、有権者の判断のよりどころとなる公正・的確な情報提供に努め、選挙放送に万全を期します。

6. 多様な回路を活用し、幅広い世代の視聴者との結び付きを強めます

○地域に密着した情報や番組を、パソコンや携帯端末、データ放送など多様なメディアにふさわしい形で提供し、幅広い世代の人たちが、いつでも、どこでもNHKに接することができるように努めます。○若者に人気のアーティストによる公開ライブ番組の放送や、番組ホームページの充実など、若い世代へのアプローチにも引き続き力を入れていきます。○平日午後6時台の地域情報番組のキャラバン中継など、公開番組やイベントを通じて地域の視聴者とふれあう場を大切にします。

7. 地域に根ざしたスポーツを視聴者とともに盛り上げます

○プロ野球「中日ドラゴンズ」や、プロ野球独立リーグ・BCリーグなどの野球に加え、サッカーやバスケットボールなどの競技でも、地元チームが活躍しています。地域の関心が高い地元チームの試合を積極的に中継するほか、その活躍ぶりをきめ細かく伝え、視聴者とともに地域に根ざしたスポーツを応援します。「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」に出場する地域ゆかりの選手の話も取り上げ、視聴者の関心に応えます。

近畿

＜基本方針＞

10年度、関西のNHK 6放送局は、“もっと見てもらう、

もっとふれてもらう”を意識し、放送を核としてインターネットや携帯端末向けサービス、イベント・広報展開などさまざまな媒体を活用したサービスのさらなる充実に努め、いっそう力強く“放送局のちから”を発揮します。

10年度は、「平成21～23年度 NHK経営計画」の2年目にあたる年であり、接触者率と受信料支払率の向上を目指す取り組みをさらに進めます。高齢者層をはじめとする従来からの視聴者を大切にしつつ、若い世代や社会の中核世代に向けたコンテンツをいっそう充実させて、関西NHKがすべての世代に親しまれるよう努めます。

いまだ続く不況は、回復に向けたはっきりとした道筋が見えない状況です。関西でも過去最悪のペースで企業の倒産が相次ぐなど、厳しい経済情勢が人々の暮らしに大きな影響を及ぼしています。

09年誕生した新政権は、社会システムの変革に取り組もうとしています。関西の各自治体の間でも、行政の在り方をめぐる活発な動きが見られます。

これからの関西経済はどうなるのか、新政権や各自治体などが取り組む変革は関西をどう変えていくのか、ニュースや番組などで、確かな情報と今後の展望を伝えます。

関西には、日本人のロマンをかき立てる数々の歴史遺産、漫才や落語をはじめとする上方芸能、一級の研究者を輩出してきた学術風土、多くのファンの熱狂を呼ぶさまざまなスポーツシーンなど、独自の風土にはぐまれた豊かな文化が脈々と息づいています。これら関西特有の“財産”をドキュメンタリーやバラエティー、ドラマなどさまざまな切り口で紹介し、放送サービスのいっそうの充実に努めます。

「平城遷都1300年」の大きな節目に、古代から現在・未来の関西と日本を見通す特集番組やイベントを展開します。また、5月に開幕する「上海国際博覧会」への関心を高める取り組みとともに、中国をはじめとする近隣アジア各国・地域の“いま”を伝え、関西との交流を見つめます。

関西の6放送局は、それぞれが地域と向き合い、視聴者の期待に応えるニュースや番組を届け、地域との結び付きをさらに強めて、いっそう身近に感じてもらえる地域サービスを展開していきます。

《重点事項》

1. 番組ごとの役割を明確にし、視聴者層を拡大

○若い視聴者層の獲得を目指す独自の挑戦を続けます。3年目に入る平日午後5時台の番組は、過去2年の蓄積を生かしながら、10代・20代の熱い学生たちを応援して元気づけ、若い世代とのつながりを深めていきます。公開生放送を中心に、特集編成やイベント、インターネットや携帯端末向けサービスなど総合的な展開で、若い世代の接触機会をさらに増やしていきます。

○金曜午後8時台は、多彩なラインナップをそろえて魅力あふれる関西を描きます。関西NHKの核となる番組として、文化や紀行、娯楽、スポーツ、ドキュメンタリー、ドラマなど、さまざまな手法で、より多くの視聴者獲得を目指します。

○09年度に刷新した全国向け歴史番組の定着を図りま

す。歴史に秘められた人間ドラマに分け入り、歴史の奥深さと意外さを浮き彫りにすることで、視聴者層を広げてきました。社会の動きをとらえたテーマ設定や他番組との連動など視聴者の関心をひく工夫を続け、さらなる定着を目指します。

○全国向けの福祉番組は、09年度、視聴者の声をもとに大幅リニューアルをしました。視聴者とのつながりをさらに深め、障害のある人となない人が“ともに生きる”社会を、番組と視聴者がいっしょになって考えます。

2. 地域の課題に向きあい、視聴者の関心に応える正確・迅速な報道

○午後6時台の番組を中心とする地域ニュース・情報番組は、放送局ごとの編集方針に基づいて、さらなる充実を図ります。地域の課題に向き合い、視聴者の関心に応じて、関西地方向けあるいは各府県向けに、身近なニュースや暮らしに役立つ情報を伝えます。

○視聴者にとって関心の高い事件や、時代を象徴する出来事を機敏にとらえ、金曜午後7時台の報道番組で、鋭い検証と的確な解説を織り込み、多角的に掘り下げます。○地震・台風などの災害や、事件・事故の発生時には、正確な情報を迅速に伝えます。データ放送やインターネット、携帯端末向けサービスなども活用し、安否情報や生活情報など、いのちと暮らしを守る情報を的確に提供します。また、近い将来に発生が予測されている東南海・南海地震への備えにも、万全を期します。

○11年1月、多くの尊い命を奪った阪神・淡路大震災から16年になります。未曾有の災害からの復興に向けた取り組み、命の重さ、人間のさすなわちの大切さを見つめてきた放送局として、震災の教訓を次世代に伝える取り組みを続けていきます。

3. 信頼に応える選挙報道

○第22回参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）や各地で行われる首長選挙にあたって、経歴・政見放送や開票速報に万全を期し、公共放送として、公平で信頼される選挙報道を行います。

京都府知事選挙（投票日 10年4月11日）

滋賀県知事選挙（任期満了日 10年7月19日）

参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）

和歌山県知事選挙（任期満了日 10年12月16日）

4. 関西の文化や情報を、全国・地域へ発信

○10年は、平城遷都1300年にあたります。この節目の年を、古代史ドラマや長時間の中継番組をはじめとする番組やイベントなど、重層的な展開で盛り上げていきます。また、これを機に歴史と文化遺産を通して古代から現代を見つめ、未来の関西と日本を展望します。

○秋から放送する連続テレビ小説をはじめ、特集ドラマや地域ドラマなど、関西を舞台にしたドラマを積極的に制作し、全国・地域に発信します。

○秋の恒例となった大阪にまつわる曲を集めた大型歌謡番組をはじめ、若い世代に関心の高い音楽と笑いを融合させた番組、地域放送の新たな定番シリーズなど、関西ならではの多彩なバラエティー番組を制作し、それぞれの世代のニーズに応じたくつろぎや楽しみのひとときを

届けます。

○能や狂言、文楽や歌舞伎など、関西に根ざした質の高い伝統文化を幅広く取り上げ、全国・地域に紹介することで、その継承や振興に貢献します。

5. アジアの“いま”を伝え、関西との交流を見つめる

○史上最大規模の万博「上海国際博覧会」が5月に開幕します。万博で盛り上がる上海の熱気や人々の挑戦を伝えていきます。また、中国をはじめとする近隣アジア各国・地域の“いま”を伝えるとともに、関西との交流を見つめます。

6. 地域サービスを充実させ、地域の拠点として存在感向上を図る

○10年、大阪放送局は開局85周年を迎えます。視聴者とともに積み重ねてきた蓄積を地域に還元しながら、新たな番組やイベント、キャンペーン展開などを通して、これまで以上に地域に貢献する放送局を目指します。

○11年7月の地上テレビ放送の完全デジタル化を間近に控え、改めて関西におけるブロック放送と府域・県域放送のバランスを検証しながら、“完全デジタル時代の地域放送サービス”のあり方を追究します。

○関西とその周辺の地域には、厳しい経済情勢の中でも、独創的な発想でビジネスチャンスを見つけ、成功を収めている企業があります。4年目を迎える地域経済番組でその活動を紹介し、地域経済活性化への応援を続けます。より見やすい時間帯への移設や、さらに多くの視聴者に見ていただくための内容の充実を図ります。また、新たに字幕放送を開始し、“人にやさしい放送”の充実に取り組みます。

○平日夕方のラジオ第1放送で放送するワイド生活情報番組では、聴取者目線の身近な情報をいっそう充実させます。平日夕方にFM放送で放送する音楽番組では、いわゆる“団塊の世代”のさらなる獲得を目指した取り組みを進めます。

○放送局同士の連携を深めて、関西の各放送局が府県向けに制作する番組をはじめ、西日本の各放送局が制作する地域放送番組を積極的に紹介し、より多彩で魅力的な地域放送を実現します。

7. スポーツ関連放送の充実

○プロ野球やサッカーJリーグ、バスケットボールbjリーグなど地元プロスポーツチームの試合や情報を、ファンの期待に応じて全国放送・地域放送で紹介し、高校野球や大学サッカー、ラグビー、駅伝・マラソンなどを積極的に取り上げ、アマチュアスポーツの振興に寄与します。

○6月から7月にかけて行われる「2010FIFAワールドカップ 南アフリカ」では、関西ゆかりの選手の活躍をニュースや番組で詳しく紹介し、視聴者の関心や期待に応じていきます。

○11月に行われる「2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」では、知的発達障害のある人たちの競技会を通して、アスリートのひたむきな姿やそれを支える人々について、ニュースや番組

で伝えます。

8. 「いつでも、どこでも、もっと身近に～3-Screens」の実現

○映像・音声各波をはじめ、インターネットや携帯端末向けサービスなど、それぞれの特性を生かした形で番組や情報を届け、より多くの人々に親しまれ、役立ててもらえるよう努めます。

○高校野球や駅伝などのスポーツ中継では、データ放送やインターネットを通して、競技についての詳しい情報を提供し、利用者の満足度向上を追求します。

○NHKと市民および市民同士がつながる放送・通信連携の仕組みづくりを続けます。地震や災害で被害を受けた人々への継続的な情報提供などで、人や地域のつながりを支えます。

○全国の放送局が制作するNHKの番組の中から、“関西”の話題を取り上げたものを、大阪放送局のホームページでまとめて紹介するなど、視聴者の目線に立った、利便性の高いサービスの提供に努めます。

9. 地上テレビ放送の完全デジタル化に向けた取り組みの強化

○地上テレビ放送の円滑な完全デジタル移行に向け、視聴者の理解を促進する番組や普及活動などに積極的に取り組みます。

中国

〈基本方針〉

政権交代による政策の転換が、私たちの暮らしに大きな変化をもたらそうとしています。また、長引く景気の低迷は地域経済や市民生活に暗い影を落としています。このような社会状況だからこそ、中国地方のNHKは地域に根ざした多様な放送を通して、地域を元気にするための拠点となります。

人口流出や高齢化が進む中国地方は、国の公共事業や農業政策に依存する割合が高く、政策転換の影響を受けやすい地域です。中国5県の放送局は力を結集し、政策転換がもたらす新たな課題について1年を通して見つけ検証します。

また、視聴者や有識者とともに“地域の課題”や“将来像”を考える大型番組、独自の風土や暮らしがはぐくんだ“伝統文化”や“地域の魅力”を再発見する番組を充実し、ふるさとを応援します。

09年7月の集中豪雨では土砂災害など大きな被害が発生しました。中国地方には、土砂災害危険箇所が約9万5,000も集中しています。災害・緊急報道にあたっては、防災・減災に役立つ情報やライフラインの情報などを迅速・的確に伝えます。

デジタルメディアを積極的に活用し、視聴者との結びつきをいっそう強めます。双方向番組を充実し、視聴者が身近な情報や話題を発信できる場を提供します。とりわけ若い世代とともに作りあげる番組を開発し、接触率の向上に努めます。

中国地方の各放送局は、こうした取り組みを通じて、

地域に密着した多様なサービスを提供し、「放送局のちから」を発揮していきます。

《重点事項》

1. 地域の課題に向き合い、中国地方の未来を応援します

政権交代による政策の転換が中国地方の暮らしにもたらす影響を見つめ、検証します。また、地域が活力を取り戻すために何ができるのか、「地域再生」「地域創造」をテーマに視聴者や有識者と考えてきた番組をさらに発展させ、ふるさとの未来を応援します。

2. ふるさとの豊かな文化を見つめます

中国地方各地で多様な発展をとげている「神楽」を、その独自性をはぐくんだ歴史や風土とともに記録し、地域の文化を見つめ直します。また、各地で生き生きと暮らす人々や美しい自然などを訪ね、ふるさとの魅力を再発見します。

3. 災害・緊急報道で地域住民を守ります

鳥取県西部地震や芸予地震の発生から10年になります。地震・台風などの自然災害や事件・事故の緊急報道では、確かな情報をテレビ・ラジオでいち早く提供するほか、インターネットや携帯端末でも、最新情報をきめ細かく伝えます。また、災害・事故が残した教訓や課題を検証し、防災と再発防止に努めます。

4. 正確、迅速な選挙報道で、視聴者の信頼にこたえます

政権交代後初めての大型国政選挙となる第22回参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）では、有権者の判断のよりどころとなる情報を的確に伝えるとともに、正確で迅速な選挙報道に万全を期します。

5. 視聴者との結びつきをいっそう強めます

デジタルメディアを活用する参加型の番組を通して、視聴者との結びつきをより強めます。また、これまで培ってきた大学生とのネットワークを生かした若い世代向けの番組など、視聴者とともに作りあげる番組を充実させます。

6. 地域のスポーツを盛り上げます

サッカー、野球など地域に根ざしたスポーツを中継や番組で取り上げ、盛り上げます。また、ひろしま男子駅伝や中国5県で開催される全国中学校体育大会も積極的に伝え、スポーツファンの期待にこたえます。

四 国

《基本方針》

四国のNHKは、視聴者のみなさんとの“きずな”をさらに深め、地域の人々から信頼され、親しまれる放送局を目指します。

昨年秋から『連続テレビ小説～ウェルかめ』『スペシャルドラマ 坂の上の雲』、そして大河ドラマ『龍馬

伝』と四国ゆかりの主人公たちが活躍する全国ドラマが次々と放送され、四国は全国から注目されています。

これを契機に、四国の魅力を発信する「ドラマチック！四国」キャンペーンに取り組んできました。10年度は、その取り組みをふるさと四国で活躍する人たちや四国の文化や自然の素晴らしさにも広げ、四国の魅力を全国に発信していきます。特に、金曜夜8時からの四国向け地域番組では、四国の人たちに元気と感動を伝える多彩な番組を放送し、地域を活気づける“応援歌”にします。

また、地域は景気の低迷によって厳しい状況に立たされ、さまざまな暮らしの問題に直面しています。10年度は、地域の課題を多角的な視点から検証し、解決に向けての道筋を地域のみなさんと一緒に考えていきます。

10年夏に行われる第22回参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）には万全の体制で臨み、選挙の争点や結果を速やかにしっかり伝えます。また緊急報道や災害報道に全力を尽くします。

さらにインターネットや携帯端末、データ放送など多様なメディアを通じて、幅広い世代の視聴者のみなさんにNHKの情報をお届けします。

来年7月に迫ったテレビ放送の完全デジタル化が滞りなく進むように、デジタル放送の魅力や受信方法を、分かりやすく丁寧にお知らせします。

視聴者のみなさんの期待に応え、地域との“きずな”を深めながら、NHKへの接触者率を高めていきます。

《重点事項》

1. 地域に元気と感動をもたらす金曜夜8時

金曜夜8時は、四国の人たちに“元気”と“感動”を伝える番組を放送します。大河ドラマ『龍馬伝』や『スペシャルドラマ 坂の上の雲』に寄せられている地域のみなさんの期待と関心に応えるため、坂本龍馬や秋山兄弟、正岡子規らの魅力や生きざまを描く新たな番組を制作します。

ふるさと四国を愛し、夢や目標に向かって生きる人たちや、素晴らしい伝統の技を受け継ぐ人たちの番組を制作します。また、四国で輝いている人たちを紹介する新しいスタイルの情報番組も開発します。さらに、情熱的な「よさこい祭り」や「阿波おどり」など多彩なテーマを取り上げ、四国の魅力を再発見します。

2. 地域の課題をともに考える報道・情報番組

四国は地域経済の活性化や雇用の確保、医療・福祉の充実や少子高齢化対策など多くの課題があります。また、政権交代後の公共事業見直しや地方主権などの課題にどう取り組んでいくかも問われています。これらの課題を解決する道筋を視聴者のみなさんとともに考えていきます。地域のニュース情報番組をはじめ、金曜夜の報道番組でそれぞれの課題を継続的に取り上げ、先進的な取り組みも紹介します。また、視聴者のみなさんからの意見をもとに解決策を探る「四国選択会議」は内容を充実させ、地上デジタル放送のアンケート機能を利用して多くのみなさんの意見を番組に反映させます。

3. 地域の人々の生命と財産を守る報道体制の強化

取材用ヘリコプターが10年3月に高松空港に配備されます。取材の機動力を高め、緊急報道の体制を強化します。また5月から大雨や洪水などの気象警報・注意報の発表が市町村単位に細分化されるため、きめ細かく防災情報を伝えていきます。地震・台風などの自然災害や事件・事故など、安心・安全のための情報を速やかに分かりやすく提供します。

4. 正確で速やかな選挙放送

第22回参議院議員通常選挙や首長選挙では、有権者のみなさんの判断に必要な情報を的確にお伝えし、結果は正確かつ速やかに報道します。

5. “いつでも どこでも NHK”

今年度は幅広い世代の視聴者のみなさんがNHKに接触していただく機会を積極的に増やします。地域に出向いて公開収録する番組や視聴者参加の番組でみなさんとふれあう機会を増やします。また、インターネットや携帯端末などのさまざまなメディアで番組情報や地域スポーツ情報、災害・選挙の情報、イベント情報などを提供し、子どもからお年寄りまで幅広い世代のみなさんの関心に応えていきます。

6. テレビのデジタル化の普及促進の積極的活動

テレビのアナログ放送が完全に終了するまであと1年あまりとなりました。デジタル放送の受信について、視聴者のみなさんの疑問を解消するために、お知らせや情報番組、イベントなど様々な機会を通して理解促進に努めます。

九州

《基本方針》

09年8月の衆議院議員総選挙で歴史的な政権交代が行われました。政策の変化が、沖縄・普天間基地の移設問題や、ダムや道路建設、諫早湾干拓など公共事業をめぐる問題をはじめ、地域社会にさまざまな影響を及ぼしています。また、世界的な経済不況の余波により、地域経済は依然として低迷しています。加えて、記録的な集中豪雨などの自然災害や、新型インフルエンザのまん延など、私たちの暮らしを脅かす事象は後を絶ちません。

一方、11年3月には九州新幹線鹿児島ルートが全線開通する予定で、経済や観光の分野に大きな変化をもたらすことが予想されます。

このような社会状況の下で、九州・沖縄の各放送局は、地域を元気にするための拠点として、視聴者の要望に応じて地域放送の充実・強化を図るとともに、地域から全国に向けた情報発信にも積極的に取り組みます。あわせて、インターネットや携帯端末など放送以外のメディアを活用したサービスも推進します。

また、第22回参議院議員通常選挙（任期満了日 10年7月25日）をはじめとする各種の選挙にあたっては、万全の態勢で臨みます。

さらに、11年7月に迫った地上と衛星のテレビ放送の

完全デジタル化に向けて、中継局など送信設備の整備を着実に進めるとともに、デジタル放送受信のための的確な情報の提供を行い、円滑な移行に万全を期します。

《重点事項》

1. “いのち”と“暮らし”を守る的確な情報の提供

景気の低迷による経済や雇用の問題をはじめ、地域社会は、少子高齢化、医療・福祉、教育、環境など多くの課題を抱えています。一方で、生活を脅かす事件や人命に関わる大きな事故も後を絶ちません。台風や地震、局地的な集中豪雨など、自然災害への備えも重要です。新型インフルエンザの流行など新たな脅威への適切な対応も求められています。

九州・沖縄の9放送局は、ネットワークと機動力を生かして、迅速で的確な災害報道や緊急報道に取り組むとともに、暮らしに役立つ生活情報の提供に努めます。また、災害時、緊急時にはインターネットのほか、データ放送やワンセグデータ放送でも情報を伝えます。

2. 地域に密着した放送の充実と多様なメディア展開

平日午後6時台のニュース番組や金曜午後7・8時台を中心に、それぞれの地域の特性に応じたサービスを展開します。

午後6時台のニュース番組では、地域の課題に向き合うとともに、暮らしに役立つ情報なども交え、内容の充実を図ります。

金曜夜間は、九州・沖縄地方に共通する課題をタイムリーに取り上げ解決策を探る報道番組を放送するほか、紀行番組や地域を元気にする公開番組、アジアで活躍する人物にスポットをあてたドキュメンタリー、喫緊の課題を取り上げる生放送の長時間討論番組など、多彩な番組を放送して、幅広い視聴者の要望に応じていきます。

さらに、テレビやラジオのみならず、データ放送やインターネット、携帯端末などにも、それぞれのメディアの利用形態にふさわしい形でさまざまなコンテンツを展開します。

3. 地域の特徴を生かした多彩な全国発信

“オヤジバンド”のコンテスト『熱血！オヤジバトル』や、アジアと九州・沖縄の意外な結びつきを紹介するラジオ番組、沖縄音楽とトークを楽しむラジオ番組を引き続き制作するほか、豊かな自然や、文化・歴史など地域の魅力を紹介する番組を積極的に全国に発信します。

さらに、地域の課題をNHKが持つ全国のネットワークを生かした取材で発展させ、ニュース番組や情報番組で全国に向けて発信します。

4. 各種選挙への万全な対応

第22回参議院議員通常選挙や沖縄県知事選挙（任期満了日 10年12月9日）、宮崎県知事選挙（任期満了日 11年1月20日）、福岡市長選挙（任期満了日 10年12月6日）、北九州市長選挙（任期満了日 11年2月19日）のほか、各種選挙については、有権者の判断のよりどころとなる、信頼できる確かな情報の提供に努めます。

5. 戦争と平和への取り組み

被爆地・長崎や唯一住民を巻き込んだ地上戦の舞台となった沖縄をはじめ、九州・沖縄各県にはいまでも戦争の深い傷が残っています。体験者の証言などを通して戦争の実像に迫り、その悲惨さを後世に伝え、平和へのメッセージを発信していきます。

6. アジアに関する情報の発信

上海万博や広州でのアジア競技大会など、高い経済成長が続く中国で大きなイベントが相次ぎます。地理的・歴史的・文化的にもアジアと深いかかわりを持ってきた地域として、アジア各国放送機関との連携を生かして、九州・沖縄の視点で捉えたアジア情報を、地域や全国に向けて積極的に発信していきます。また、日本を飛び出し、アジア各地で活躍する九州・沖縄出身者を追うドキュメンタリー番組の制作にも取り組みます。

7. 地域の文化・芸能・スポーツの振興

九州・沖縄の各地には、長い歴史と伝統の中で育まれてきた個性豊かな文化があります。それらを継承しようとする人々や、新しい文化・芸能を創造していこうとする人々を積極的に取り上げ、地域文化・芸能の振興、発展に寄与します。

また、スポーツが盛んな九州・沖縄において、関心の高いプロ野球やJリーグをはじめ、高校野球、高校駅伝などの各種スポーツについても広く伝え、スポーツの振興に寄与します。さらに、今年開催される“美ら島沖縄総体2010”では、競技中継とともに、開催に向けた地域の取り組みについても伝えます。

8. 視聴者とともに作り上げる番組・イベント

市町村へ出向いて実施する公開番組をはじめ、会館のスタジオやホールを活用した番組・イベントなど、幅広く視聴者とふれあう地域イベントを積極的に実施して、地域を元気にする取り組みを行います。10年の大河ドラマ『龍馬伝』では、長崎県が舞台の一つとなります。視聴者のみなさまに大河ドラマをより楽しんでいただくような番組やイベントを展開していきます。

9. 完全デジタル化への円滑な移行に向けた取り組み

11年7月の地上と衛星のテレビ放送の完全デジタル化を間近に控え、円滑な移行のための諸施策を放送やイベントを通じて多角的に展開します。

アナログ放送受信者がデジタル放送受信に変更するための方法や留意点を、さまざまな番組でいねいに周知し、理解の促進を図ります。

あわせて、「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」など大型イベントをはじめ、地域放送において、高画質・高音質のデジタル放送の魅力を発揮した番組を積極的に放送するとともに、データ放送による身近で役に立つ多様なコンテンツの提供、視聴者とのつながりを深める双方向番組の充実を図るなど、地上デジタル放送の魅力を最大限にアピールします。